

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.273・6月18日 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

絶滅していた「彦根りんご」をもう一度復活させるため、リンゴ園を作り、リンゴの栽培に情熱を注ぐ「彦根りんごを復活する会」の皆さんが今回の素敵な人。彦根市西今町にあるリンゴ園でお話を伺った。

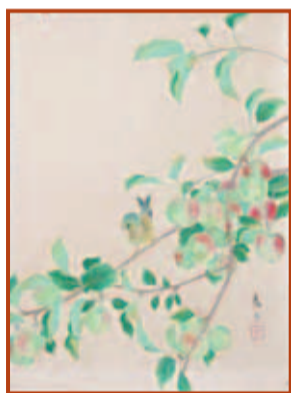
絶滅した彦根りんご

彦根りんごは和リンゴの一種で、江戸時代から昭和にかけて彦根市で栽培されていた。形はやや扁平で、直径4～5センチ、西洋リンゴに比べるととても小さい。

収穫が8月ということもあり、昔はお盆のお供え物として欠かせないものだったが、昭和初期に東北地方や長野県などで西洋リンゴが盛んに栽培され、彦根りんごは徐々に姿を消していった。

1枚の絵を手がかりに

歴史ある彦根りんごを復活させようと、現会長の尾本正和さんを中心に30人の会員が集まり、03(平成15)年6月「彦根りんごを復活する会」が結成された。過去に同様の活動が行われていたが成功しなかったことや、リンゴの木が育つのに時間がかかることなど、不安を抱えてのスタートだった。活動するうち、少しずついろいろなことが分かってきた。



岡山徳州「彦根りんご図」

彦根りんごは1種類ではない▽彦根市内の数カ所で栽培されていた▽リ

ンゴの木が1本も残っておらず、唯一の手がかりは岡島徹州画伯が描いた「彦根りんご図」――など。

「平成の彦根りんご」が誕生

そんな状況の中で、岩手県や青森県、石川県、長野県などの、農業研究機関へ何度も足を運び、リンゴの花や果実の撮影、収穫など調査を続けた。

彦根りんごの可能性のある和リンゴの原種約10種類の枝を手に入れ、枝を台木に接ぎ木した。「彦根りんご図」に最も近いものを「彦根りんご」と決定し、「平成の彦根りんご」と名づけた。

「1本でも木が残っていたら、もっと楽だったと思います。でも、リンゴを通してたくさんの友人ができたし、輪が広がりました」と尾本さん。

苗木を植え、水をやり、施肥、害虫の駆除などの作業を根気よく続けた結果、



彦根りんごを復活する会の皆さん



“復活”!まぼろしのリンゴ

素敵な人彦根りんごを復活する会の皆さん

苗木が順調に生育し、活動開始から3年後、見事、実がついた。

「1つでも実がなればうれしいという人たちの集まりでしたから、大きな成功でした」と誇らしげな尾本さん。

現在、会員は50人。リンゴの花見や収穫祭、寺社にりんごを奉納するなど、さまざまな活動を行っている。今後の課題は、彦根りんごを使った商品開発だ。

2009年祭に向けて

当面の目標は、16(平成28)年に「まぼろしの彦根りんご復活祭」を開催すること。

彦根りんごが1816(文化13)年、武士の石居泰次郎により彦根にリンゴの苗木200本が植えられ、農園を作ったのが始まりとされていることにちなんで、このイベントを成功させ

たいと願っている。現在、2009年祭に向けて200本のリンゴの木のオーナーを募集中。さらに全国組織として「日本ワリンゴの会」を結成し、農業政策、果樹政策の向上にも努めたいと話す。「先

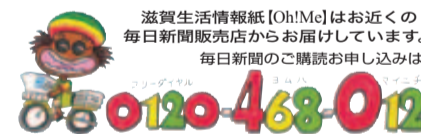
祖が残してきた歴史や文化を大切に、次の世代に託していきたい」と会員たちの夢は膨らむ。

平成の彦根りんごが大きく育ち、将来、彦根の名産や誇りとして受け継がれていくことを楽しみにしている。(取材・澤井)

詳しくは www.gaido.jp/2731

彦根りんごを復活する会

●彦根市西今町141 ●FAX: 0749-24-2855
●e-mail: hikoneringo@gmail.com
<http://08-09.com/hikoneringo>



読者プレゼント 見て、得するPRコーナー

活きた鮎を焼きながら食べるお店 つかんで焼いて食べて!「松水」

活鮎料理3,150円～6,300円 8コースご用意しております。新コース「近江串焼コース」3,150円、「焼うなぎ重鮎3尾コース」3,150円も大人気。今が旬の鮎料理のお食事券3,150円を3名様にプレゼント! さらにご応募いただいた中から10名様に鮎1尾引換券(3,150円以上のコースのお食事に限りご利用いただけます)をプレゼントします。〔今なら毎日新聞を見たと言っていた方にデザートをサービスさせていただきます。8月31日まで〕

鮎料理 しょう すい **松水** お食事券 (3,150円相当の品) をプレゼント

小松水産株式会社 〒520-0501 滋賀県大津市北小松996-2 ☎ 0120-014-665 <http://www.sho-sui.com/>

応募方法

左記応募先の「毎日新聞・見て得する」係へ、はがきで、住所・氏名・年齢・電話番号を明記して応募して下さい。締切りは平成21年6月30日(当日到着分迄有効)。厳正な抽選の上当選者に商品の発送をもって発表に代えさせていただきます。※個人情報は応募先にて責任をもって管理いたします。ただしキャンペーンや商品の案内を送らせていただく場合がございます。ご了承の上応募下さい。



写真は松3尾コース 5,250円